



株式会社 ふたば

| 会 | 社 | 案 | 内 |

フィールドは、ふるさとから世界まで。



株式会社 ふたば



<https://www.futasoku.co.jp>

地域をはかり まちをつくり 未来へつなぐ

東日本大震災から十余年が経過し、震災を「過去」の出来事と感じる方もいらっしゃると思います。しかしながら、本社のある双葉地域では復興は道半ばであり、今なお多くの課題が山積しています。創業以来の祖業である「建設コンサルティング」や「測量・用地調査」の視点は不可欠ですが、それだけでは復興・再生に十分に対応できない現実があります。

私たちはこの現実を乗り越えるため、様々な分野において実証・実験を重ね、多様な技術と経験を培ってきました。創業53年の伝統技術に加え、新たな技術やサービスを融合させ、地域課題の解決に取り組んでいます。特に震災以降に立ち上げた「空間情報コンサルティング」「環境コンサルティング」「地域デザイン(まちづくり)」そして「海外コンサルティング」の4本柱をさらに深化させ、多柱化サービスの実現に向けて取り組んでまいります。

さらに今年度は、約10年にわたる継続的な取り組みの成果として、ペルー国・マチュピチュ遺跡の3D調査が始まりました。これは世界初の民間企業による調査であり、弊社にとっても大きな一歩です。また、弊社が長年に渡り、寄り添ってきたとみおかワイナリーが津波被災地の富岡駅前に立ち上がり、実践的まちづくりを学ぶフィールドが整いました。

本年度をもって第2期復興・創生期間が終了いたします。弊社は双葉郡に本社を置く企業として、これまで培ってきた経験と技術を深化させ、地域の復興・再生に力を注いでおります。復興のプロセスで得た知見をもとに独自のサービスを確立し、新たな市場や分野への挑戦を進めております。これにより、日本の地方そして世界が抱える社会課題の解決に、微力ながらも貢献していきたいと考えています。これまでの歩みとこれからの一つひとつの積み重ねを大切にし、社内連携を強化することで、「ふたば」が目指す社会コンサルタントとしての基盤を築いていきます。この地域を深く掘り下げることで、世界へとつながる道を切り拓き、「社会コンサルタント」への進化を目指してまいります。

代表取締役 遠藤 秀文

詳しくはHPをご覧ください。



企業 理念

広い視野、そして情熱と探究心を高め、
社会の元気エネルギーの礎を築くことに貢献する。

先義後利

中国の儒学・荀子^{じゆんし}に登場する「義を先にして利を後にするものは栄える」の意味。すなわち、利益よりも、まずは人としての道義・義理を最優先にしていれば、利益は後からついてくる。

社 是

不易流行

松尾芭蕉の理念:変わることはないものと、変化し続けるもの。伝統的な本質を踏まえながら、時代の変化に応じて新しい事業分野や手法などを取り入れていくこと。

良樹深耕

良い人材・良い技術・良い企業を育てるには、深く耕し・豊かな土壌を育むことが重要である。

経営 理念

- 1 私たちは、“技術力”と“人間力”の両面の成長を常に意識・努力し、“広い視野そして情熱と探究心を高め”様々な課題解決のプロフェッショナルそして社会コンサルタントを目指し、持続可能かつ発展性のある社会の創造に貢献して参ります。
- 2 私たちは、真心と誠実な気持ちを持ち続け、社会から信用・信頼される人づくり・人育ちを大切にし、地域社会になくてはならない企業づくりを目指します。
- 3 私たちは、かけがえのない仲間同士の絆を深め、互いに支え育てあい、働きやすい職場環境と幸せな家庭環境が両立できる社風を目指します。



地域の未来を創る、 社会コンサルタントへ

福島県双葉地域に本社がある「ふたば」は、東日本大震災を乗り越え、地域の課題解決に取り組む“社会コンサルタント”を目指しています。社会インフラの測量・設計を行う「ハード事業」から、人々や地域をつなぐ「ソフト事業」まで、“ワンストップサービス”を提供し、その力を地球規模の課題解決へ展開して参ります。



6つのコンサルティングと ふたばのソリューション

「広い視野」を持って「迅速」「柔軟」に最善の解決策をご提案いたします

長年の経験で培った「建設」コンサルティングをベースに、「環境」の様々な情報をUAV(ドローン)などの最新技術で調査し、「空間情報」として見える化します。見える化されたデータは「まちづくり」の協議の場でも活用しています。これらのコンサルティングサービスで培った経験・知識を活かし「海外」へも展開しています。



UAV搭載型グリーンレーザスキャナ

水を透過する緑色の光を照射するグリーンレーザスキャナをUAVに搭載し、陸域及び水域の表層から地面を三次元的に同時に観測できます。測深能力は透明度によるため、透明度が高いタイミングで計測することでより効果的な計測が可能です。



図：UAV グリーンレーザによる漁港・海岸施設計測

論文
発表

土木学会 海洋開発委員会
第50回 海洋開発シンポジウム

2025/5

亜熱帯性海域におけるUAV
グリーンレーザの適用性に関する実証試験

詳しい内容はここから



図：UAV 写真

UAV搭載型 3Dレーザスキャナ

近赤外線を照射するレーザスキャナをUAVに搭載することで、陸域の表層から地面を三次元的に観測できます。高密度な三次元点群により、植生下でも詳細な地形情報を取得可能です。



図：UAV レーザ測量による地形測量（地面フィルタリング）



UAV搭載型グリーンレーザスキャナ

UAVにグリーンレーザスキャナを搭載し測量することで、水を透過するグリーンレーザにより水底地形の計測が可能です。測深距離は透明度に依存します。



UAV搭載型多機能カメラ

広角カメラ、ズームカメラ、サーマルカメラ、レーザ距離計を搭載しており、構造物の維持管理や大型動物の調査、対象物の座標情報の把握等で活用できます。



据置型3Dレーザスキャナ

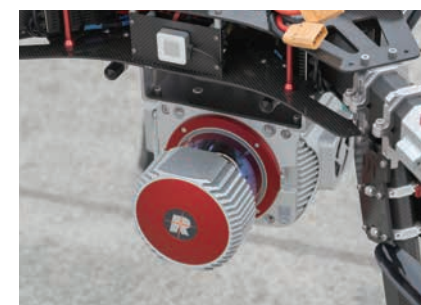
レーザスキャナを三脚に据えて測量することで、計測対象物の材質や形状に応じたより高精度かつ高密度な3D点群データを計測できます。

保有機材リスト

▶ 写真撮影用UAV

▶ 3Dプリンタ

▶ トータルステーション



UAV搭載型3Dレーザスキャナ

UAVに近赤外レーザスキャナを搭載し測量することで、草木が茂っている現場でも、枝葉の隙間をレーザが通過するため、地表を含めた3D点群データを計測可能です。



マルチスペクトルカメラ

UAVにマルチスペクトルカメラを搭載することで、5バンド（Blue, Green, Red, RedEdge, Near）の画像を撮影可能です。森林や農業分野で活用されています。



車載型3Dレーザスキャナ

車両にレーザスキャナを搭載し測量することで、車両が走行できる現場なら広範囲を短時間でスピーディに3D点群データ化できます。



点検用UAV

GPSが受信できない環境でも自律制御可能です。磁気の影響を受けにくいVisual SLAMを活用した全方位障害物検知システムを搭載しており、安全に近接撮影ができます。



空間線量率測定器

0.001~10 μ Sv/hの範囲を位置情報と共に1秒間隔で計測可能です。UAVに搭載した計測も可能で、UAV計測データから地上1m高の値を推定することもできます。



ハンディ型3Dレーザスキャナ

屋内、山林、洞窟など、徒歩でしか立ち入れない現場でも、計測対象物の形状に応じて短時間でスピーディに3D点群データ化できます。

▶ オートレベル

▶ GPS・ソナー搭載自律航行無人リモコンボート

▶ 船外機付きボート／精密音響測深器

詳しくは動画をご覧ください



河川・砂防 湖沼

河川、砂防、ダム等は、近年激甚化する自然災害から国民の生命・財産を守り、地域の自然環境を保全する重要な社会資本です。安心・安全で快適に暮らせる地域づくりのため、UAVグリーンレーザ測量等の最新技術も使いながら地域の景観や利用特性、生態系に配慮した測量調査、計画設計を行っています。

- 河川基本設計、詳細設計
- 砂防堰堤基本設計
- 老朽化調査
- 長寿命化計画
- 洗堀・堆砂量調査
- UAV写真測量
- UAVグリーンレーザ測量
- 三次元点群
- ソナー搭載自律航行無人リモコンポート
- 深浅測量
- 水質・底質調査
- 生物調査

詳しくは動画をご覧ください

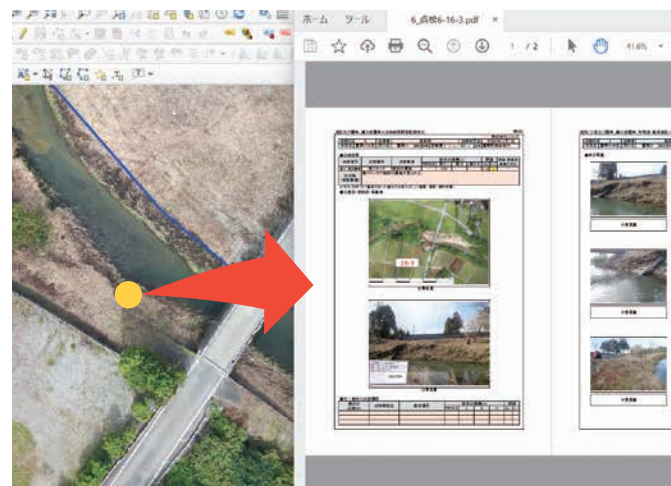


UAVグリーンレーザによる河道調査



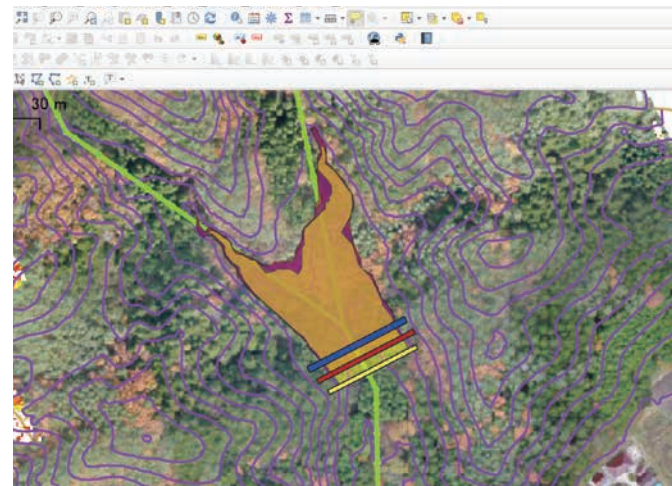
UAVグリーンレーザ測量は、河川の整備計画・河道掘削に伴う測量及び不等流計算等に活用できます。より詳細な調査が可能になるとともに、計画断面に対する堆砂及び洗堀量の算出や災害発生時の現況把握及び復旧工法の検討などにも活用できます。

UAVを活用した長寿命化計画



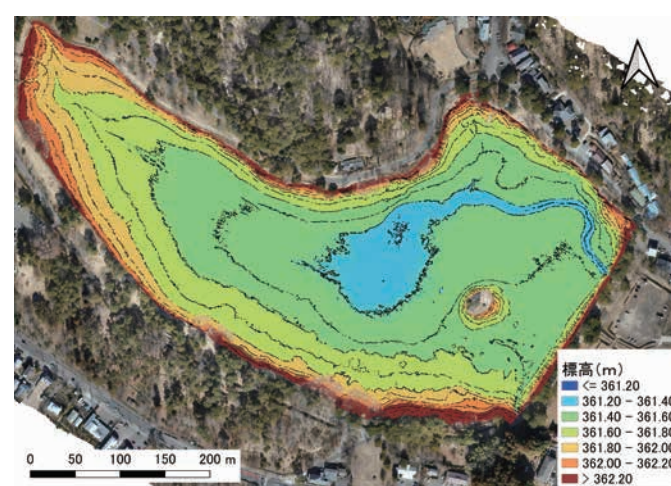
UAV写真撮影により、効率的な調査を実施することが可能です。俯瞰的な視点と目視による視点を組み合わせることで、わかりやすい帳票を作成することができます。また、調査結果をGISで一元管理することで台帳整備として活用することが可能です。

UAVを用いた砂防堰堤位置の検討



UAVレーザ測量により、森林下の地形測量を実施します。取得した点群データより、陰影図や傾斜図を作成し、地形状況等を求め堰堤位置を検討します。作成データはGISで一元管理を行い、必要な情報を迅速に提供することが可能です。

UAV グリーンレーザによる土砂流出量調査



UAVグリーンレーザを用いて、湖沼の二時期の河床地形を計測することで、土砂の流出量を把握でき、浚渫等の維持管理計画に役立てることが可能です。また、底質調査等の実施により、今後の維持管理計画の具体化に向けた課題と調査方法を提案できます。

海岸・干潟 汽水域・サンゴ礁

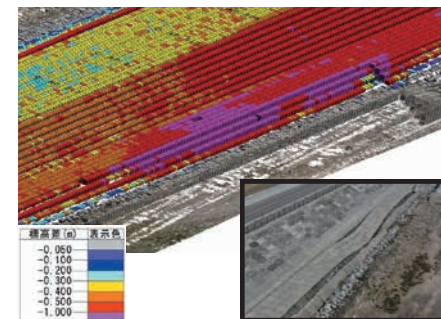
UVA搭載型グリーンレーザスキャナにより、今まで手軽に計測できなかった河口部における海の浅海域の地形を面的に計測することで、河口部の海岸保全施設などの維持管理に役立てることができます。

- UAVグリーンレーザ測量
- UAVレーザ測量
- 三次元点群
- 海底地形計測
- 護岸等の構造物計測
- サンゴ礁計測
- 堆砂・洗堀解析
- 海岸保全施設の維持管理
- 減災・防災
- 環境保全
- 環境(サンゴ礁)モニタリング

詳しくは動画をご覧ください

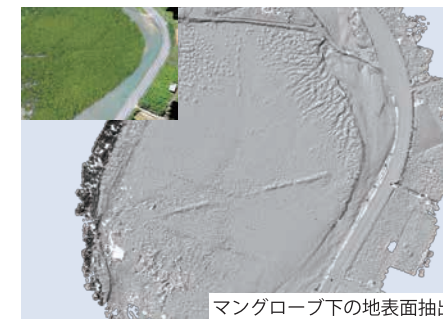


護岸の沈下解析



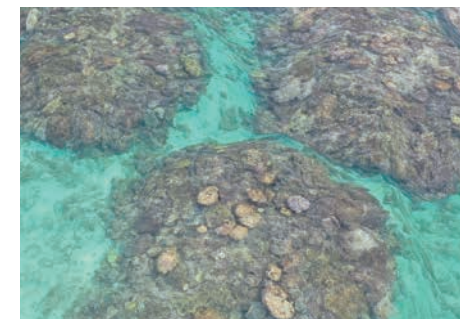
UAVグリーンレーザ測量により、海岸保全施設を定期的にモニタリングすることで、変化量などを把握し、防災・減災のための適切な維持管理に活用できます。

干潟・汽水域の調査



UAVグリーンレーザを用いて、海岸に隣接するマングロープ等の植生の点群データを取得することが可能です。取得した植生下の地表面点群データは、保全計画等の基礎資料として活用できます。

サンゴ礁調査



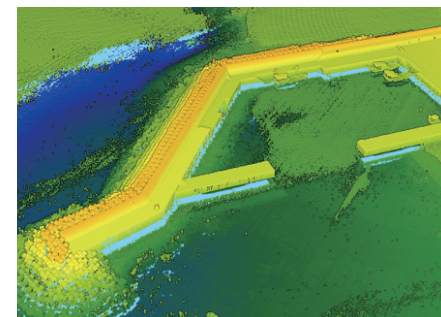
三次元化したサンゴ礁をUAVで撮影した写真などと組み合わせることで、地形やサンゴの分布を把握し、サンゴの保全計画等へ活用できるよう研究を進めています。

港湾・漁港

港湾・漁港施設は物流や漁業者等の利用者にとって、重要な社会資本となります。UAVグリーンレーザ測量等の最新技術を活用しながら、施設整備や維持管理のための測量、計画設計を行っています。

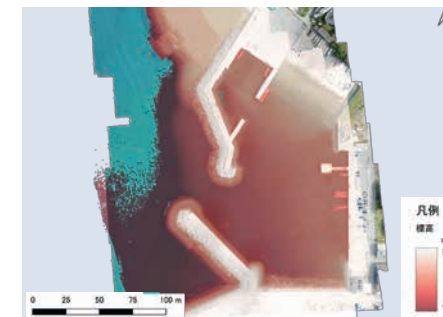
- UAVグリーンレーザ測量
- UAVレーザ測量
- 三次元点群
- 深浅汀線測量
- 水質・底質調査
- 潜水調査
- 海象解析
- 漂砂解析
- 堆砂・洗堀解析
- 漁港施設の基本計画、基本設計、詳細設計
- 長寿命化計画
- 減災・防災

堤防・護岸の維持管理



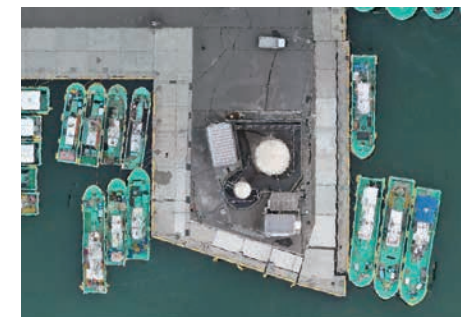
UAVによる測量による、港湾・漁港保全施設を定期的にモニタリングすることにより、経年変化や自然災害による影響などを把握し減災・防災のための適切な維持管理に活用できます。

航路埋没調査



UAVグリーンレーザ測量により港内の地形を計測し、船の安全な運行のため堆砂による航路埋没の状況などを把握することで、防災・減災のための適切な維持管理に活用できます。

漁港施設の維持管理



UAVによる測量により、漁港構造物や岸壁等の施設を定期的にモニタリングすることにより、経年変化や自然災害の被害状況を把握し、減災・防災のための適切な維持管理に活用できます。

道路・公園

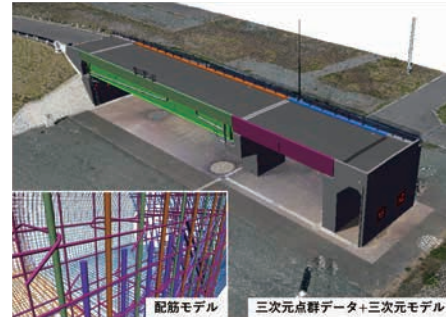
道路や公園、工業団地等は、地域の生活基盤を支える重要な社会資本であり、安全・安心、快適に暮らすためには重要な施設です。BIM/CIMなどの最新技術も活用しながら、整備に関わる調査、解析、計画、設計、維持管理に至るコンサルティングサービスを行っています。

- 三次元点群 ●BIM/CIM ●維持管理 ●道路概略設計・詳細設計 ●公園・運動場設計
- 構造物詳細設計 ●工業団地概略設計・詳細設計

詳しくは動画をご覧ください



CIM



詳細度100~400の三次元モデルを作成し、維持管理等に活用できます。詳細度400では構造物の配筋モデルを表現でき、三次元点群データと組み合わせることで、再現性を高くしています。生産性向上の抜本的改革が可能です。

走行シミュレーション



三次元モデルを作成することで、走行シミュレーションを行うことができます。UAV等で計測した点群データと組み合わせることで、走行時の視認性を確認でき、将来イメージをわかりやすく伝えることができます。

工業団地・公園計画設計



工業団地および住宅用地の造成計画に加え、周辺インフラとして道路、排水、調整池、上下水道、公園設計までを一括で行い、地域全体の利便性と持続可能性を高める計画が可能です。(田ノ入工業団地)

点検

今後増加していく点検・維持管理業務に対応するため、様々な状況に合わせた機材で調査を行うとともにAIなどの最新技術を活用しながら各種調査点検を実施することで、効率的で的確な点検につなげていきます。

- 点検 ●橋梁点検 ●点検用UAV ●法面点検 ●サーモグラフィ ●空洞化
- 道路景観調査 ●支障木調査 ●三次元点群 ●車載写真レーザ測量(MMS)

詳しくは動画をご覧ください

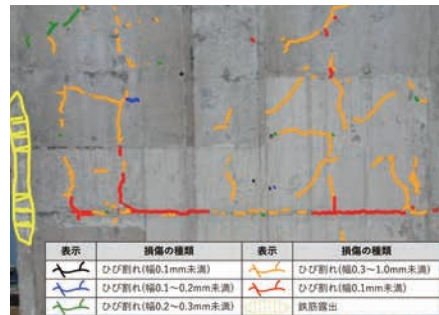


UAVを用いた橋梁点検



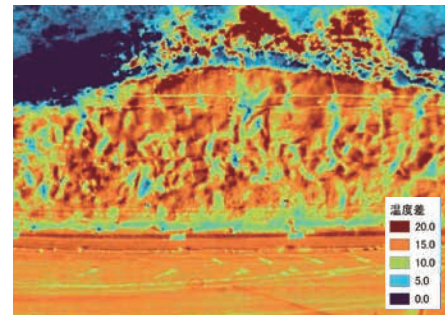
機動性に優れたUAVを活用することで、効率的な調査を行います。機体に搭載された6箇所のカメラ映像により全方位の障害物を検知し自動回避するため、T桁の間など狭窄部でも調査・撮影が可能です。

AIによるひびわれ解析



UAVと組み合わせ、手が届かない箇所でも特殊車両を用いず、ひび割れ幅等の損傷状況を確認、評価できます。撮影した画像を合成し成果として作成するため、橋梁全体の点検結果を正確に記録できます。

UAVを用いたモルタル吹付法面点検



UAVにより撮影した写真から損傷状況を把握するとともに、サーモグラフィ写真によりモルタル吹付法面の空洞化を判断することで、人の立入が困難な現場でも短時間で調査・計測が可能です。

森林

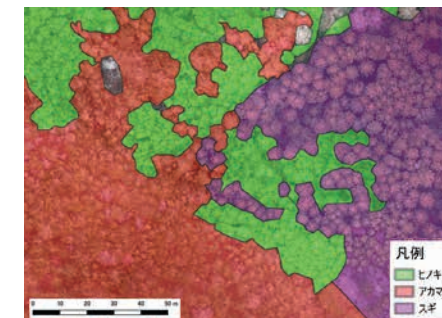
UAVによるリモートセンシング技術を中心に人の立入りが困難な森林域に対して、森林の状況を計測および解析し、地理情報システムにより一元管理することで森林管理を効果的に実施するための情報を提供します。

- UAV写真測量 ●UAVレーザ測量 ●ハンディレーザ計測 ●三次元点群
- UAV線量率計測 ●地形測量 ●林道設計 ●毎木調査・解析 ●樹種分類 ●GIS
- 森林成長量の推定 ●材積量 ●森林管理 ●減災・防災 ●環境保全
- 環境(線量率)モニタリング

詳しくは動画をご覧ください

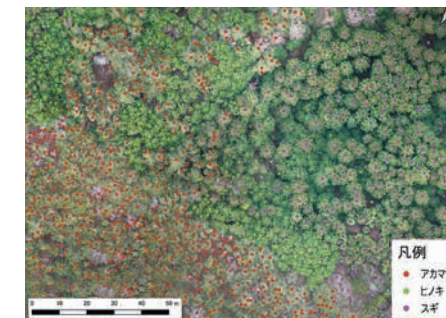


UAV写真による樹種分類



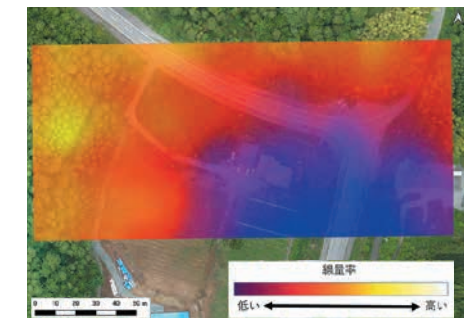
UAV写真により樹種分類を実施します。将来的には針葉樹および広葉樹の複数の樹種についてAIによる自動分類を可能にすることで、さらなる効率化を目指しています。

三次元点群による毎木解析



UAVレーザ測量による三次元点群データから得られる森林の表層、地盤高および樹冠形状等のデータにより、毎木位置および樹高を解析し、樹冠形状から材積量の推定まで行います。

UAV空間線量率計測



航空機モニタリングで使用されている手法をベースに、日本大学工学部情報工学科により低高度のUAV計測に最適化された手法を用いて、高分解能の地上1m高の空間線量率を面的に解析します。

農業

日本の食料自給率は年々減少傾向にあり、大きな課題となっています。課題解決のため、農業用水路等の整備が必要となります。UAVや三次元点群を中心としたリモートセンシング技術を活用し広範囲が農地等に対する測量設計を行います。

- UAV写真測量 ●UAVレーザ測量 ●地上レーザ測量 ●UAVグリーンレーザ測量
- 農業用水路・排水路の測量設計 ●ソナー搭載自律航行無人リモコンポート
- UAVマルチスペクトル撮影 ●不陸解析 ●鳥獣害対策 ●サーモグラフィ

詳しくは動画をご覧ください



ため池の測量・設計



農業用水の確保のために、ため池は重要な社会資本となります。UAVや三次元点群等の最新技術も活用し、ため池等の施設の測量・設計を行っています。

果樹の三次元化



※色は糖度の違いを示す

地上レーザ測量を用いて、果樹の三次元点群データを取得することで果実の位置や果樹の状態をデータ化し、果実や剪定の情報も付与することで、若手農家への研修やスマート農業の基礎資料として活用できます。

鳥獣害対策



日本ではシカ・イノシシの獣害被害の増加が顕著です。UAVに搭載した熱カメラにより撮影した画像から、シカの生息数や行動パターンを把握することができます。繁殖しすぎた野生動物駆除等の計画策定に役立てています。

遺跡・文化財

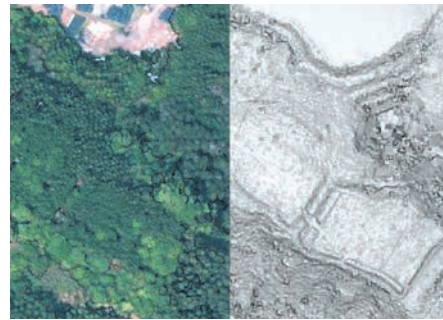
文化財の調査や記録、管理支援として、レーザスキャニングなどの新技術を用いた計測や、GISおよびVRなどを利用した文化財保存・活用の提案に取り組んでいます。

- UAV写真測量
- UAVレーザ計測
- 地上レーザ測量
- 三次元点群
- 図面作成
- 台帳作成
- GIS
- VR
- 文化財資料整理

詳しくは動画をご覧ください

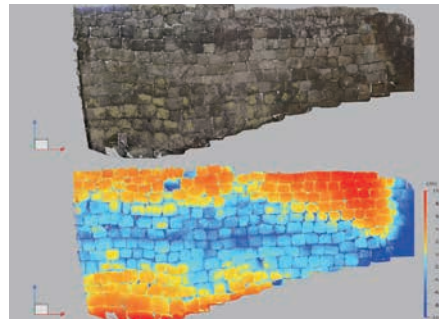


森林下の遺跡調査



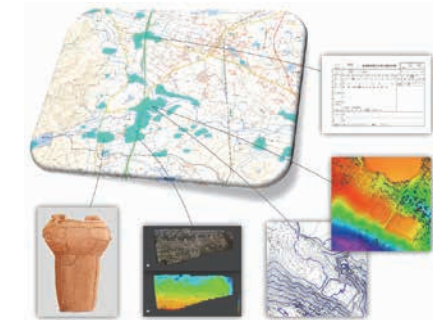
UAVを用いた写真撮影やレーザスキャニングを行います。レーザスキャニングでは森林内の地形測量が可能で、UAV写真や点群を用いて図面の作成を行います。点群データから動画の作成も行います。

遺跡・文化財の保全調査



歴史的建造物や石垣等の文化財には地上レーザを用いた記録・計測を行います。点群データより断面図等の各種図面や動画の作成が可能で、さらには復元にも活用することができます。

文化財保存・活用の提案



文化財の計測・記録だけでなく、活用のための提案を行っています。GIS、VRをはじめ、3D動画作成、区域の文化財を管理するための資料整理や台帳作成にも取り組んでいます。

海外

海外でのODAプロジェクトに深く携わり、島しょ国の海岸・サンゴ礁保全や世界的に有名なマチュピチュ遺跡に関わる調査を行っています。

- 保全計画(海岸、サンゴ礁)
- サンゴ生態調査
- 基準点測量
- 水準点測量
- 深淺汀線測量
- 港湾・漁港設計
- 施工管理
- GIS構築
- 遺跡・文化財調査

海外の業務実績



ODAを中心に世界8カ国にて海岸保全計画策定、サンゴ礁保全計画策定、文化財保全調査、森林調査等のプロジェクトを実施しています。

遺跡・文化財の保全調査



『マチュピチュ』遺跡では、自然災害や観光客の増加による著しい損傷の懸念があります。そこで、(株)ふたばの三次元測量技術を活用し文化財の保全のほか、防災対策等へ活用するための調査を行っています。

島しょ国の海岸保全・防災計画



島しょ国の海岸において、海岸侵食、高波浸水被害等様々な海岸問題が生じています。UAVを活用した現地調査を行い、海岸保全、環境、利用、開発の調和を考慮した海岸保全計画を行っています。

まちづくり

双葉郡の復興・再生に貢献すべく、地元企業として、「地域密着型」かつ「最新技術」を駆使して、住民主体のまちづくり支援や総合計画の策定を行っています。

- 住民主体のまちづくり活動への支援業務(ワークショップ支援)
- VRコンテンツ作成
- 総合計画、地域計画策定業務

詳しくは動画をご覧ください



住民主体まちづくり支援



富岡町をはじめ、楢葉町、南相馬市小高区等で、住民主体でのまちづくり支援を行っています。ワークショップを開催し、住民や町内事業者、行政とともに、これからの各地域における将来構想やプランの検討を行っています。

VRによる将来イメージの作成



計画検討の支援としてVRによる将来イメージの作成を行っています。関係者の意見をVRに反映させながら、時間軸による見え方(景観)の比較や交通シュミレーション等を行うことで、関係者との円滑な合意形成を図っています。

地域のブランディング支援



地域の更なる復興や賑わいづくりに向け、地域資源等を活用したブランディング支援を行っています。これまでに、新たな観光・交流拠点の創出に繋げていくことを狙いとした、ワインガーデンの土地利用計画等の検討をしました。

災害対応

近年激甚化する自然災害に対して、被災後の迅速な対応が求められています。UAVを中心としたリモートセンシング技術を活用し、広範囲の被災現場や危険箇所の計測を迅速に実施し、被害状況の把握を行っています。

- UAV写真測量
- UAVレーザ測量
- UAVグリーンレーザ測量
- 三次元点群
- GIS
- BIM/CIM
- 点検
- 減災・防災
- 災害復旧の測量設計
- 地形測量

詳しくは動画をご覧ください



UAVによる災害調査



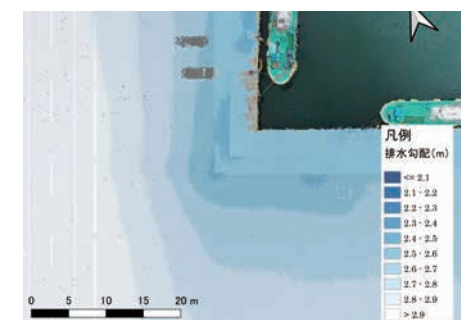
河川や農地、海岸など上空が開けた場所をUAVで空撮することで、広範囲の被災状況や接近困難な危険箇所の特定、被害規模の把握が可能です。2024年の能登半島地震ではTec-Force(緊急災害対策派遣隊)として災害対応をしました。

崖地の崩落対応



土砂崩落が発生した場合でも、UAV等により三次元点群データを取得することで安全に被災直後の状況を確認し、早急な土砂撤去に移行可能です。点群データから図面を作成し、適確な復旧計画を行います。

沈下・隆起状況や排水勾配の確認



各種三次元測量技術により、広範囲の高さ情報を取得し既存の高さ情報と比較することで変化量を把握可能です。等高線や色分けなどの表示を工夫することで沈下量や排水勾配をわかりやすく確認できます。



保有資格 ■保有資格一覧

工学博士	2名
技術士[総合技術監理部門]建設 - 道路	1名
技術士[総合技術監理部門] 建設 - 河川、砂防及び海岸・海洋	2名
技術士[建設部門]道路	1名
技術士[建設部門]河川、砂防 及び海岸・海洋	6名
技術士[農業部門]農業農村工学 (旧:農業土木)	1名
技術士[上下水道部門]下水道	1名
技術士[応用理学部門]地球物理 及び地球科学	1名
技術士[応用理学部門]地質	1名
技術士補	10名
APECエンジニア	1名
IPEA国際エンジニア	1名
RCCM[下水道]	1名
RCCM[河川、砂防及び海岸・海洋]	1名
測量士	10名
測量士補	19名
1級土木施工管理技士	5名
2級土木施工管理技士	1名
ふくしまME (基礎)	6名
ふくしまME (防災)	2名
ふくしまME (保全)	2名
学芸員	1名
河川技術者	1名
水路測量技術2級	1名
港湾海洋調査士	1名
潜水土	1名
小型船舶操縦技師	1名
二等無人航空機操縦士	1名
DJIスペシャリスト	3名
第3級陸上特殊無線技師	1名
JSTQB認定テスト技術資格 (Advanced Levelテストマネージャー)	1名
第1種情報処理技術者	1名
農業土木技術管理士	1名
土地改良補償業務管理者	2名
TOEIC800点以上	1名

2025年8月1日現在

ふたばのCSR



とみおかワインプロジェクト

醸造用のブドウ栽培やワインづくりを地域産業の一つとして育て、ふるさとの復興をはかっていくプロジェクトを応援しています。



学校教育サポート

地元の小中学校へのサポートとして、部活動での指導や、測量技術の体験授業などを実施しています。



ふたば交流センター「整の箱」

南相馬の仮設住宅団地で集会所として使用されてきた建物を移築し、震災の記憶を伝える遺構とするほか、住民が未来を考えるための場として地域にも開放しています。



地域イベント参加

お祭り、スポーツイベント等の地域イベントへ参加することで、イベントを通して地域の活性化のための活動を行っています。



CSR活動

本社のある富岡町ではゴミ拾い、海岸や河川敷の清掃、草刈りなどの美化活動を実施しています。また、郡山市のアイラブロード事業へ参加し、支社周辺の草むしりやゴミ拾いを実施しています。



研修受入れ

ワークショップ・シンポジウムの開催、地域住民の意見交換の場として、富岡本社の会議室や整の箱を開放しています。

出身校
一覧

国立大学／常広畜産大学 / 弘前大学 / 岩手大学 / 福島大学 / 茨城大学 / 東京農工大学 / 宇都宮大学 / 新潟大学 / 静岡大学
県立大学／会津大学
私立大学／札幌大学 / 八戸工業大学 / 東北工業大学 / 東北芸術工科大学 / 医療創生大学 / 獨協大学 / 白鷗大学 / 千葉工業大学 / 中央大学 / 東海大学 / 東京農業大学 / 東洋大学 / 日本大学 / 法政大学
工業高等専門学校／福島工業高等専門学校

会社概要

会社名	株式会社ふたば
創業	1971年(昭和46年)11月24日
登録	建設コンサルタント登録 建07第8271号 測量業登録 登録第(11)ー 8975号 地質調査業登録(申請中) (独)国際協力機構(JICA) 登録01674 ISO9001:2015
資本金	10,000,000円
従業員数	50名(契約社員等を含む)
代表メールアドレス	info@futasoku.co.jp
会社役員	代表取締役 遠藤 秀文 副社長 猪狩 倫 取締役 遠藤 直美 常務 陰山 建太郎 特別顧問 和田 豊 執行役員 高橋 正人
加盟団体	社団法人 福島県測量設計業協会 社団法人 日本測量協会 福島県農村振興技術連盟 社団法人 日本技術士会 社団法人 日本技術士会 東北支部 社団法人 日本技術士会 東北本部福島県支部 社団法人 東北土地改良測量設計技術協会 社団法人 建設コンサルタンツ協会 社団法人 マリノフォーラム21
加入学会	社団法人 土木学会 社団法人 リモートセンシング学会 社団法人 写真測量学会 社団法人 日本サング礁学会

事業所



富岡本社
〒979-1113
福島県双葉郡富岡町曲田55番地
TEL.0240-22-0261
FAX.0240-22-0368



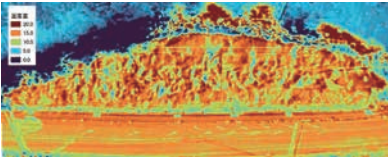
郡山支社
〒963-0107
福島県郡山市安積3丁目157番地2
TEL.024-954-3832
FAX.024-954-3835

沿革

昭和46年11月24日	創業・営業開始
昭和48年11月21日	測量業 登録
昭和51年 4月 1日	社団法人 日本測量協会加入
昭和52年10月 1日	法人化(有) 双葉測量設計事務所
昭和59年 4月10日	社団法人 福島県測量設計業協会加入
平成 6年 3月31日	補償コンサルタント登録
10月19日	双葉測量設計株式会社に組織変更
平成13年 8月28日	ISO9001認証取得
平成16年11月24日	建設コンサルタント登録
平成21年 4月 1日	(独) 国際協力機構(JICA)のコンサルタント登録
平成23年 4月11日	震災後、郡山市に本社機能を移し、再開
5月	相馬事業所開設
6月	いわき事業所開設
平成25年12月 1日	株式会社ふたばに社名変更、田村営業所開設
平成29年 8月	富岡本社・郡山支社の新築移転
令和 3年 3月	ふたば交流センター『整の箱』開所
11月	創業50周年を迎える
令和7年 4月	ペルー国「マチュピチュ遺跡」保全のための高精度3D測量解析調査開始

受賞歴・認証制度

平成27年 3月	がんばる中小企業・小規模事業者300社受賞 (経済産業省中小企業庁)
令和元年 5月	第39回 東北建築賞(特別賞) 受賞
令和 2年 1月	第36回 福島県建築文化賞(優秀賞) 受賞
2月	第5回 ふくしま産業賞(知事賞) 受賞
8月	令和2年度福島県優良土木・建築委託業務 (土木設計業務部門)受賞
10月	地域未来牽引企業選定(経済産業省)
令和 5年 8月	令和5年度福島県優良土木・建築委託業務 (土木設計業務部門)受賞
令和 6年 2月	令和5年度みちのくインフラDX奨励賞 (工事・業務部門)受賞(国土交通省東北地方整備局)



UAVを用いたモルタル吹付法面点検業務
詳しくは、10ページをご覧ください。

令和 6年 8月	令和6年度福島県優良土木・建築委託業務 (測量業務部門)受賞
----------	-----------------------------------